

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら江戸川台西教室		
○保護者評価実施期間	令和6年6月1日	～	令和6年6月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和6年6月1日	～	令和6年6月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年7月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動プログラムが充実している。5領域に応じたプログラムを楽しみながら参加できるよう、職員で相談しながらプログラムを作成している。職員間で目的、手順が共有できるようにミーティング、朝礼等での打ち合わせで確認をしている。	プログラムが固定化されないように毎月異なるプログラムを作成している。季節感を取り入れ、各曜日バランスの良いプログラムを作成できるように心がけている。また、プログラムの様子が保護者にも伝わるように毎月こぼん通信を発行し、活動の様子を写真付きでお伝えしている。	プログラムの目的や手順を職員全員で共通理解をしてスムーズに進められるように前日までに準備の確認や、必要に応じて事前に打ち合わせをするなど、当日余裕を持って進められる準備を行う。
2	ミーティング等での各種研修会の開催や、外部研修等にも参加する機会を設けている。また、向上心を持った職員が多く、他資格を持っている職員が保育士資格にチャレンジしたり、子どもたちと一緒に成長していこうという意識を持って療育にあたっている。	定期的なミーティングを開催し、その中で支援内容、感染症対策、虐待研修等、各種研修会を開催している。勤務状況や継続年数により、対象の職員には外部研修にも参加しやすいよう、費用負担やスケジュールの調整等を行い、各種資格取得や講習受講ができるようにしている。	ミーティングを欠席した職員にも内容の共有ができるよう、議事録の作成や連絡ノートの活用、朝礼や昼礼、終礼での振り返り等でも内容共有をしていく。
3	教室には庭があり、近くに公園もあるので、のびのびと遊ぶことのできる環境が整っている。	天気の良い日は積極的に庭遊びを取り入れたり、公園に遊びに行くようにしている。そこで夏はプールなど、戸外ならではの集団遊びや活動を行っている。	日々、環境整備を行い、安全に遊べる環境をつくっていく。職員間で発達段階に合わせた集団遊びの情報共有を積極的に行っていく。遊び道具の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他健常児との交流の機会を持つというところはなかなか難しく、実施できていない。	感染症対策を考えると、まだ近隣でもコロナが発生している状況なので、なかなか多くの人数と一緒に活動するというのが難しい。今のところ受け入れ先もなく、健常児の幼稚園、保育園、学校等との交流はできていない。発達段階を踏まえた交流方法など、よく検討が必要である。	なかなか健常児の施設との交流は難しいが、まずはこぼんはうすさくら他教室同士の交流を計画していく。
2	保護者会の開催ができていない。	感染症対策を考えると、ここ数年は開催ができていない。教室内に多くの人数が集まることを考えると不安がある。	コロナ前は開催をしていて、とても好評だったので、感染が落ち着いている時期に、少人数で複数回開催をするなどの工夫をし、計画していきたい。
3	子どもの日々の様子や発達の状況や課題について共通理解が頻繁にできている保護者と、難しい保護者がいる。	送迎時に会うことのできる保護者とはやり取りができているが、保育所を利用している子どもの保護者とはなかなか会う機会がなく、こまめな情報の共有が難しい面がある。	子どもの様子を見て、共有したいことがあれば電話での連絡やアプリのチャットを活用して保護者と連絡をとるようにしていきたい。日々のサービス提供記録も分かりやすく、詳しく記入するようにしていきたい。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 8月 20日

事業所名 こばんはうさくら 江戸川台西教室

保護者等数(児童数) 25(27) 回収数 26 割合 96.2%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25件	1件			・近くの公園も活用しながらたくさん活動ができるようになっている。 ・ややせまめかと思えます。	外遊びがある分、走り回る活動もあるため、事故や怪我のリスクも高まります。庭や公園での活動の時間は、特に職員配置を気を付ける等、気を付けていきたいと思えます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	25件			1件	・実際に見たことはないが、子どもは先生や友だちの話を楽しそうにしているのでは問題ないと思っている。 ・いつもありがとうございます。	モニタリング時や、面談時に、教室の様子を見学いただける機会を作っていくしたいと思います。定期的な職員の研修会や勉強会等の開催を続け、職員の教育に力を入れていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24件	1件		1件	・折りたたみ用の机が教室内におかれていてあふないと思う。	活動スペースの確保のため、折りたたみ机を使用しています。利用児の導線を考え、ぶつけやすい場所等の確認、怪我のないように工夫していきます。また、わかりやすい絵をつけた表示や、室内の掲示物等利用児に合わせた環境作りを心掛けていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	25件	1件				毎日の清掃、週ごとの清掃等、チェックリストを用いて、抜けないよう、清掃をしています。また、コロナやインフルエンザ流行期には、毎日使ったおもちゃや絵本等の消毒作業もしています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	26件				・親の意見をよく聞いてもらえ、そこから本人の課題を具体的に作成して頂いた。 ・わかりやすく作成されています。	まず面談等でじっくりお話しします。児童発達支援管理責任者含め職員間でのカンファレンスや、保護者、利用児とのコミュニケーションを大切に、計画しています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26件					ガイドラインを基に、支援計画を作成していきます。また、支援計画の内容が職員と共有できるよう、ミーティングや、朝礼、昼礼、終礼での確認をし、途中で支援計画変更の必要が出た場合は、都度変更、修正していきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26件				・大きな声で話した時、やさしく小さな声で言おうねとかかわる姿を見て、安心しました。	個々の発達に合わせ、無理のない、有益な教育ができるよう、心がけています。個別支援計画を職員全員が理解した上での教育ができるよう、各自支援計画の確認をすることはもちろん、朝礼、昼礼での共有をしています。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25件	1件			・毎日色々な活動ができている。 ・色々な経験させてもらえてありがたいです。	プログラムは、その季節に合わせて活動を心掛け、食育では、旬のものを取り入れるよう、工夫していきます。イベントや行事等は、曜日に偏りがないよう、各曜日の利用児が楽しめるよう、計画していきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11件	1件	3件	11件		現在、他の幼稚園等と関わる機会を計画することができていません。近隣でもまだコロナやインフルエンザ等の感染が出ている状況ですので、もう少し状況が改善した後、今後の課題として検討していきます。
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25件	1件			・とても分かりやすかった。 ・いつもご丁寧です。	契約時に児童発達支援管理責任者が書面をお渡ししつつ、説明をさせていただきます。その後も、利用者負担額等が変わった時には、書面を作成しなおし、都度ご説明します。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	26件					保護者様にわかりやすいよう、支援計画を示しながら説明をさせていただきます。計画作成時だけでなく、必要があれば、都度ご説明させていただきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	15件	6件	2件	3件	・トレーニングではないが相談にはいつでも乗っていただいている。 ・特にないが、面談は有。	悩み等があれば、電話や面談でご相談に応じています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25件	1件			・お迎えの時にその日の様子を話してもらえうれしい。 ・説明がわかりやすいです。	送迎時は時間を取ってのお話ができないため、何か追加でお話する必要がある場合は、職員と連携しつつ、児童発達支援管理責任者よりご連絡させていただきます。また、モニタリング時に限らず、ご要望があれば、都度お電話でのご相談や面談をさせていただきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24件	2件			・多くの様子を共有でき、成長を感じることができる。	半年に一度のモニタリング時の他、心配事があった場合等、都度お電話や面談をさせていただきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6件	2件	7件	11件	・なくても十分である。 ・無い方がありがたいです。	今後、コロナやインフルエンザ等の流行状況を注視しつつ、計画をしたいと思っています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	25件			1件	・いつも相談に乗っていただき、ありがたいです。	保護者様からご連絡をいただいた事項等は、連絡票に記載する習慣をつけ、ミーティング等で職員間の情報共有をしておき、対応していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26件				・お迎えの自宅送りでは誰にも話が聞かれず配慮されていると感じる。	心配事などがあれば、いつでもお電話や面談などでお伺いします。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26件				・写真付きでかわいらしい。 ・難しいと思いますが、活動の様子を映像で見られたら嬉しいです。	「こばんはうさくらだより」にて、行事等のプログラムを記載しています。「こばん通信」では、前月の行事等の様子を写真付きでご紹介しています。今後も、様子がわかるような配信をしていきたいと思っています。映像については、写真掲載の了解をいただいた利用児以外が映ってしまう可能性もあり、難しいと考えます。支援の様子を見学いただくことはできますので、ご相談ください。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	24件	1件		1件		個人情報の取扱いについては、職員研修等で指導しています。	
非常 時 等 の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	26件				・書面でも頂き、分かりやすい。	書面作成しお渡ししています。避難訓練の様子も、こばん通信でご紹介していきたいと思えます。また、遠で防災センターに行くことも計画したいと思っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26件				・避難訓練の先生の様子を見て、息子は消防士になりたいと言っていた。ありがとうございます。	定期的に避難訓練をプログラムに入れています。利用児もスムーズに動けるようになってきているので、引き続き、指導していきたいと思えます。

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	25件	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん友達と集団遊びをするのが本当に楽しいようです。毎日「今日行くの？」と聞かれます。</li> <li>・楽しい取り組みがよていされているので、いつも嬉しそうに帰ってきています。</li> <li>・息子にとても合っていて、こちらに通って良かったと思っています。</li> <li>・最近では、「こぼん行くよ」と声をかけるとおもちゃの片付け、出発準備をします。</li> <li>・いつも本当に楽しそうです。嫌がったことが一度もないです。</li> </ul>	<p>楽しみながら療育に繋がるようなプログラムを計画していきます。曜日ごとに偏りが無いよう、バランスの良いプログラムを心がけています。また、個々の発達に合わせ、無理のない、有益な療育ができるよう、心がけていきたいと思っています。</p>
	23	事業所の支援に満足しているか	26件		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと遊ぶルールや、だるまさんがころんだ等、たくさん学んできて、家でも同じようにしているようです。ありがとうございます。</li> <li>・本人のやりたい気持ちを大切にしてくださっていて、有難うございます。</li> <li>・もうすこし長い時間の利用ができると助かります。</li> <li>・いつも本当にありがとうございます。成長を感じられ、嬉しいです。</li> <li>・感謝の気持ちでいっぱいです。いつもありがとうございます。</li> </ul>	<p>今後とも満足いただける支援を続けられるよう、職員間で連携し、療育をしていきたいと思っています。</p>

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 8月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 江戸川台西教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5件		定員でも余裕があるくらいのスペースがある 庭もある	死角となる場所があるので、常に目が届くように注視する
	2 職員の配置数は適切であるか	5件		その児童に合わせ、1対1もしくは複数で対応している	体調不良時などの不測の事態に対応できるように連絡体制を整えています
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5件		絵や写真などを表示して視覚的にも分かるようにしている 危険がないようにロックや仕切りをしている	表示が取れかかっていないか、危険なところがないか日々整備する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5件		チェックリストを用い毎日清掃、消毒している 毎朝、熱中症アラートを確認し、日中も室温、湿度を適時確認している	エアコンやサーキュレーターなど普段行き届かないところも定期的に掃除をしていく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5件		朝礼での確認と、終礼で振り返りを必ずしている 定期的にミーティングを行い、問題点などを話し合っている	シフトにより終礼に参加できない職員へも振り返りノートに記録し共有をしていく
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5件		毎年アンケートを実施している	アンケート結果を職員で共有し、改善につなげていく
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5件		こぼんはうすくらのホームページに公開している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5件		こぼんはうすくら本部の方の訪問が定期的であり、指導を受けている	指導内容は職員全員で共有し、改善していく
適切な支援の提供	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5件		社内勉強会を定期的で開催している他、社外の研修にも参加している	一度に全員が集まるのが難しい場合、複数回に分けて開催する 職員の意向と適性を踏まえ、外部の研修にも参加する機会を積極的につくる
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5件		保護者と面談のうえ一人ずつアセスメントシートを作成している 児童ごとに作成した個人ファイルに共有し、職員全員がすぐに確認し支援に入れるようにしている	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5件		こぼんはうすくら本部からのツールを使用している	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5件		児童発達支援管理責任者が作成した支援計画に設定されている 一人ひとりの発達段階、課題に合わせ支援ができるよう共有している	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5件		児童ごとに作成された個人ファイルの内容を職員が把握し、支援している。	ミーティング及び出勤時に計画を確認する
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5件		児童発達支援管理責任者と管理者を中心に、支援員と日々相談しながら立案、準備運営を行っている	有益な活動となるように計画している
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5件		季節に応じ毎月異なるプログラムを作成、曜日によって異なるよう工夫している	各曜日、バランスよく入るように立案している
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5件		発達段階などに応じ、個人の目標、集団での目標を決め、計画している	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5件		朝礼を必ず行い、役割の確認及び、留意する子どもの伝達をしている。朝礼、終礼、連絡ノートなどで確認している	途中から入る職員がいる場合は、支援リーダーのもと確認する
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5件		終礼を必ず行っている。振り返りノートを活用し、その日出動していない職員にも共有している	途中であがった職員やその日入っていない職員も、日報や振り返りノートは必ず確認する
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5件		振り返りノートの活用をしている		
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5件		半年に一度実施し、その内容をファイルで職員に共有している	必要があれば期間中にも都度見直ししていく
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5件		児童発達支援管理責任者が参加し連携している	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5件		児童発達支援管理責任者が参加し連携している	必要があれば他機関を訪問して会議を行う 会議の内容は記録をとり、職員で共有、保管している
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			対象外	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			対象外	
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5件		児童発達支援管理責任者が連携し、職員に共有している	お互いに、取り入れられること、対応が難しい点など環境を踏まえたうえでの理解や協力体制をつくっていききたい	

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5件		児童発達支援管理責任者が連携し、職員に共有している	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5件		児童発達支援管理責任者が連携し、職員に共有している	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3件	2件	同じグループの教室との交流やプログラムを通し関わりを深めている	感染症がまだ流行段階なので、同グループ内以外は実施できていない。今後実施となった場合、どうやって交流していくか方法をよく考える必要がある
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5件		児童発達支援管理責任者が連携し、職員に共有している	会議の記録をとり、職員で共有、保管している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5件		電話相談やアプリのチャットを活用し、共通理解を行っている。随時電話などで行っている	送迎時はゆづくりと時間がとれないので、必要があれば児童発達支援管理責任者と直接電話や面談でご連絡するようにする
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4件	1件	現在は市での実施がないため、児童発達支援管理責任者がフォローしている	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5件		書面を作成のうえご説明し、サインを頂いている。変更があればその都度作成している	体制が変わった時にも、都度ご説明するようにする
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5件		面談の時に読み合わせを行い、確認サインを頂いている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5件		面談、電話、アプリのチャットで行っている。アプリが導入されてからより気軽にご相談いただいていると感じる。送迎時など保護者からご相談があった時は児童発達支援管理責任者と連携し、電話などで対応している	終礼で状況の共有をする
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1件	4件	コロナ禍以前は行っていたが、現状、できていない	今後、コロナやインフルエンザ等の流行状況を注視しつつ、計画をしたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5件		児童発達支援管理責任者が対応し、職員に共有している	記録をとり、職員で共有、保管している
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5件		毎月こぼん通信(プログラムのお知らせや活動報告)をアプリで配信している。写真付きで工夫している	写真掲載については同意いただいた児童のみとし、そのほか個人情報の扱いに注意する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5件		定期的なミーティングで取り扱いについて確認を行っている。鍵付き書庫で保管し、個人情報の持ち出しは禁止されている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5件		アプリのチャットで言葉を残したり送迎時に説明している。絵カードの利用や分かりやすく心がけている	どのように、どんな内容を伝えたいのか、職員間で共有していただくようにしたい
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2件	3件	コロナ禍のため難しい	今後、コロナやインフルエンザ等の流行状況を注視しつつ、計画をしたい
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5件		マニュアルは事務所のわかりやすいところに掲示している。避難訓練は定期的に行い、内容の記録や反省点を話し合いをしている。	マニュアルの点検、修正も都度行う必要がある
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5件		プログラムに組み入れ、行っている	全曜日バランスよく訓練が入るように計画していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5件		個人ファイルに記載し、全職員に周知している	特別に気を付けることがある子に関しては、一覧表を作ることを考えたい
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5件		アレルギー除去の児童は、カードを作成し、必ずダブルチェックしてから提供している。	用意した職員、ダブルチェックをした職員が分かるようにする
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5件		ヒヤリハットファイルを使い共有している	個々でヒヤッとする度合いが違うので、小さなことでも出来事として共有するようにする
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5件		年に1.2回の研修、都度のミーティングを行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5件		支援計画に記載、説明をしている	日々のミーティングでも確認する